

「子猫が増えて飼いきれない！」 「不妊・去勢手術をしようにも、頭数が多くて費用がだせない…」 といった状況になる前に、早めに動物病院で不妊・去勢手術をしましょう!!

(過剰な繁殖の防止は「動物の愛護及び管理に関する法律」に定められた飼い主の責務です。)

不妊・去勢手術とは? メリットや配慮すべき点は?

不妊や去勢の手術では、精巣・卵巣・子宮などの生殖器を切除します。発情期独特の困った行動が収まるだけでなく、生殖器の腫瘍のリスクがなくなるなど健康面でもメリットがあります。



メス: 不妊手術のメリット

●手術で卵巣と子宮をとるため、妊娠しなくなり、子猫がうまれなくなります。(猫は生後4ヶ月ほどで妊娠する場合もある) ●発情しなくなり、発情期特有の甲高い大きな声をあげなくなります。 ●卵巣、子宮の病気にかからなくなります。



オス: 去勢手術のメリット

●手術で精巣をとるため、メスを妊娠させることがなくなります。 ●縄張りやメスをめぐるケンカが減ります。 ●発情しなくなり、発情期特有の甲高い大きな声や臭いづけ、しきりに外に出たがるなどがなくなります。 ●精巣の病気にかからなくなります。

配慮すべき点

●後で赤ちゃんが欲しくなっても産ませられない。 ●肥満になりやすい傾向がある。 ●肥満の結果として下部尿路疾患のリスクが高まる。

欠点は制御できます。

●手術には全身麻酔のリスクがありますが適切な麻酔管理で軽減できます。 ●肥満傾向になりませんが適切な食餌管理と運動で防げます。 ●メスは尿失禁が起きることがありますが治療できます。



不妊・去勢手術の時期は?

不妊や去勢の手術を受ける時期は、生後6ヶ月頃、初めての発情期を迎える前が理想です。ほとんどの病院では、予防接種が終わっていること、ダニやノミ、お腹の寄生虫の駆除が終わっていることなどを条件としているため、発情期を迎えてから慌てないようにしましょう。子猫の健康診断や予防接種の際などに、動物病院で予め相談することをお勧めします。



不妊・去勢手術はすぐ済むの?

不妊手術は開腹が必要なため数時間程度の手術となり、1~2日の入院が必要となりますが、翌日には元気に動き回る猫もいます。傷口も2週間程度で大分塞がります。去勢手術は30分程度で終了するため、麻酔も短時間で済み、ほとんど出血もないため、術後はすぐに元気になります。日帰りでもできますが、1日入院させて落ち着いてから退院というケースもあります。まずは、予め行きつけの動物病院を作っておくことが大切です。



**猫を屋外に出す場合は、他の猫や野良猫との間に望まれない命を生み出さないよう、
飼い主の責任として不妊・去勢手術をしましょう。**

猫について相談したいときの連絡先は

広島県動物愛護センター

(広島市、呉市及び福山市を除く県内)

〒729-0413 広島県三原市本郷町南方8915-2
TEL.0848-86-6511 FAX.0848-86-3720

広島市動物管理センター

〒730-0043 広島市中区富士見町11-27
TEL.082-243-6058 FAX.082-243-6276

呉市動物愛護センター

〒737-0161 呉市郷原町2380-319
TEL.0823-70-3711 FAX.0823-70-3712

福山市動物愛護センター

〒720-1143 福山市駅家町下山守546-14
TEL.084-970-1201 FAX.084-970-1202